

2014年度受託研究概要報告

明石舞子団地の将来像について

研究メンバー

三上晴久 デザイン学部環境・建築デザイン学科教授

委託者

明舞まちづくりサポーター会議

研究概要

明石舞子団地の中心である明舞センターの将来像に関する提案

研究成果

平成26年度は、明石舞子団地（明舞団地）への入居が開始されてから50年目の節目の年度に当たるが、それを記念し、兵庫県の担当部署等が中心となって、「明舞まちびらき50周年」のタイトルのもとにさまざまな催し物が企画運営されてきた。そのひとつとして、市民フォーラムが平成26年10月26日（日）に催されたが、ここでは、明舞団地の中心部である明舞センターの将来のあるべき姿に関して議論することが企画された。市民フォーラムに関しては、任意団体である明舞まちづくりサポーター会議が中心的な役割を担っていたが、私たちは、明舞まちづくりサポーター会議からの依頼を受けて、明舞センターの将来像の提案を行った。この受託研究は、数名の学生有志を募って行ったが、フィールドサーベイの後に議論を重ねながら提案をまとめた。提案は、模型とパワーポイントとしてまとめ、10月26日当日には、会場（明舞センター内の既存施設である松ヶ丘ビル3階大会議室）において、学生たちが発表を行った。現状分析を踏まえたうえでの私たちの提案は、多くの方々の興味を引き、今後の議論の広がりを感じさせるに足るものとなった。市民フォーラムの様子は、翌日の神戸新聞と毎日新聞において取り上げられた。



学生たちの発表の様子（午前）



団地談義の様子-1（午後）



団地談義の様子-2（午後）

